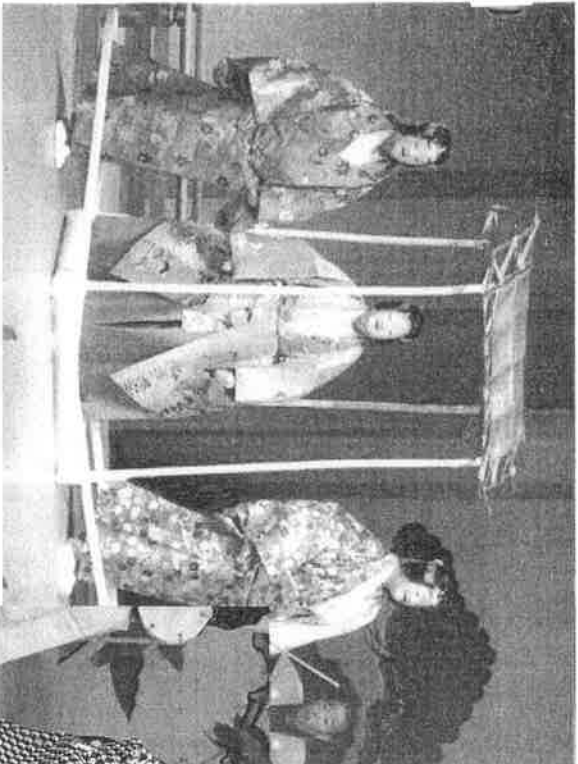
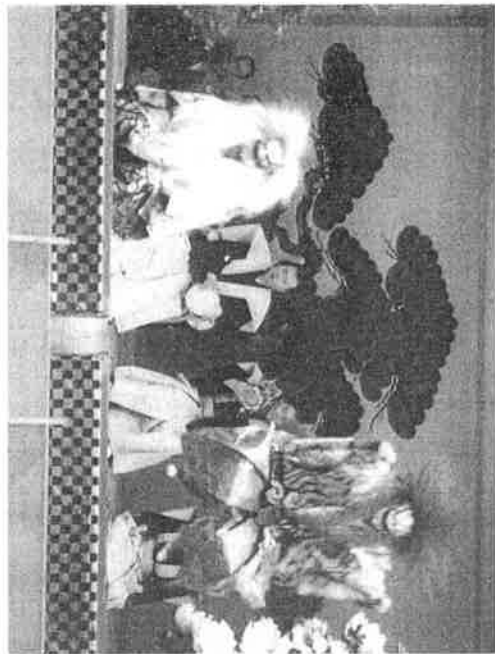


熊本県能楽協議会

くまもとけんのりかくまうぎょうかい



概要

設立年月日 昭和25年6月

代表者 狩野 琇鵬 (かのう しゅうほう)

会員数 120名

住所 熊本市新町 4-3-30

主な活動地域 熊本県内

地域文化活動部門

「熊本県能楽協議会」は、昭和二十五年に在熊の観世流、宝生流、金春流、喜多流の四派により「熊本県能楽協会」として発足しました。

昭和五十八年の熊本県立劇場の開館記念の柿落として、人間国宝の桜間道雄氏(金春流)の「翁」、友枝喜久夫氏(喜多流)の「羽衣」を公演されて以来、「熊本能」や「流友大会」を毎年開催されています。

平成二十年度の「第五十回熊本県芸術文化祭オーブニングステージ」では、熊本ゆかりの喜多流の友枝昭世氏(人間国宝)、金春流の桜間右陣氏、狂言の野村小三郎氏の参画を得て創作能「熊本能―清正」を上演。劇場能という現代劇場の機能を活用した新しい手法に挑戦され、そのスケールの大きさを、日蓮宗の僧侶集団による「声明」の採り入れなど、新しい能への演出を生み出し、NHKが新作能としては異例の特集を組むなど、その取組みは、能楽師や能楽評論家から高い評価を得ています。流派を超えて熊本が誇る「熊本能」の全国発信に大きく寄与しています。

## これまでの活動歴

昭和二十五年	在熊の観世流、宝生流、金春流、喜多流の四派で「熊本県能楽協会」を発足
昭和五十八年	熊本県立劇場の開館記念柿落とし公演を実施
昭和五十九年	「熊本県能楽協議会」に改称
平成二十年	第五十回県芸術文化祭オーブニングステージ「熊本能―清正」上演
平成二十二年	水前寺まつり祝賀「熊本能」